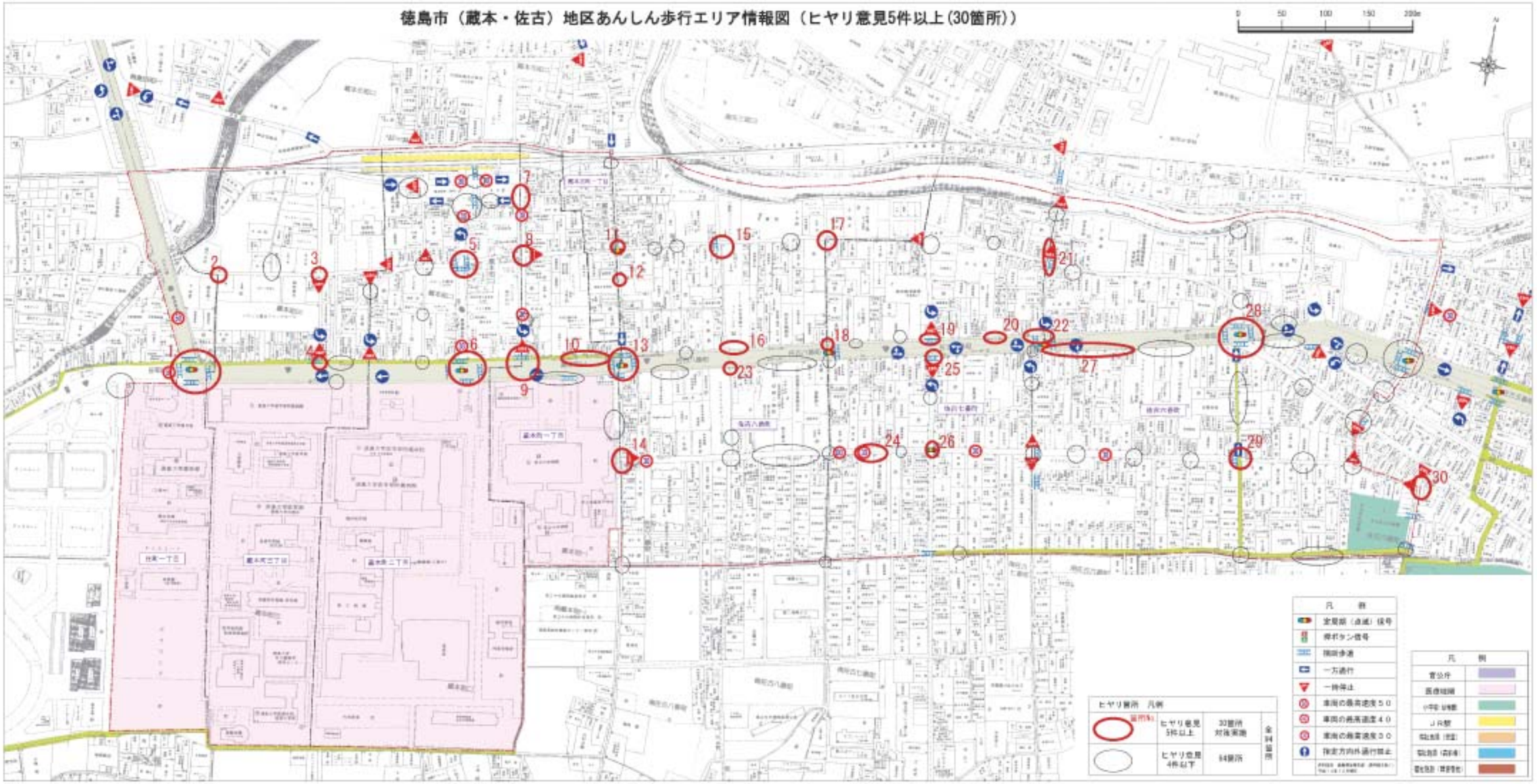○　対策検討を行うヒヤリ箇所（ヒヤリポイント 94 箇所、内 30 箇所が対策箇所）